

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

506-80

事務事業名	防犯灯管理業務				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	危機管理部	課等名	防災交通課		包含する細々目	1	2	1	5	12	5	19,043
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	43 地域安全の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	関連計画 条例等							
		事業期間		年度～								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	夜間の歩行者(軽車両を含む)	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			107844		107000	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	安心して歩ける	夜間安心して歩けると感じる市民の割合 市民アンケート(%)	18目標	最終目標	100	
			18実績	19目標	70	↑
			23目標	23実績	80	最終目標達成年度
			18目標	最終目標		
		18実績	19目標		↑	
		23目標	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	通学路を中心に設置した防犯灯を維持・管理することにより、夜間安心して外出できるようにする。	市内に設置してある防犯灯5,921灯(平成18年度当初)の電気料金は飯田市が負担している。 蛍光灯の購入費用及び防犯灯の維持管理費用として、防犯灯1灯あたり年額1,000円を各地区防火防犯委員会へ委託料として支払っている。	年間電気料 防犯灯管理委託本数	13,058千円 5,921灯
		防犯灯5944灯の電気料金 各地区防火防犯委員会への委託料 防犯灯の新設・移設を含めた維持・管理について、まちづくり委員会へ移管する方向で検討する。	年間電気料 防犯灯管理委託本数	13,093千円 5,944灯

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	国庫支出金		
	特定財源		
	起債		
	その他	0	
	一般財源	18,977	19,043
	事業費計(A)	18,977	19,043
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	18,977	19,043

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	犯罪による被害を軽減する	犯罪発生件数	現状値	990	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	1050
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 事業の開始時期については、防犯灯が設置されてから防犯灯の維持管理のため始められたもの。なお1灯1,000円の管理委託については、平成12年から各地区に交付し、電気料については平成5年の上郷町との合併協議の結果、平成6年より実施した。	事業を取り巻く状況の変化 毎年新設される防犯灯があり、年々経費が増加している。	事業に対する市民や議会の意見 少数ながら、地区での維持管理に1灯1,000円では少ないとの意見がある。
---	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 夜間の街頭犯罪の抑止に結びついている。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 地域が主体となって防犯灯の適正配置を行うことにより、成果の向上が期待できる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 夜間の街頭犯罪の抑止に結びついている。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 防犯灯の維持に必要
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 夜間の街頭犯罪の抑止に結びついている。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 関連事業あり (類似事業名、理由) 街路灯など
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 安全で安心な地域社会を実現するために地域安全を推進する責務がある。		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 可能 (その理由) より身近な地域の皆さんにお願いすることによってより効果的な維持等ができる
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益者は市民であり妥当

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 → 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 19年度中に各地区まちづくり委員会等で維持管理をおこなう仕組みについて検討する。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	市の仕事の下請けになると市民の反発が想定される。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	